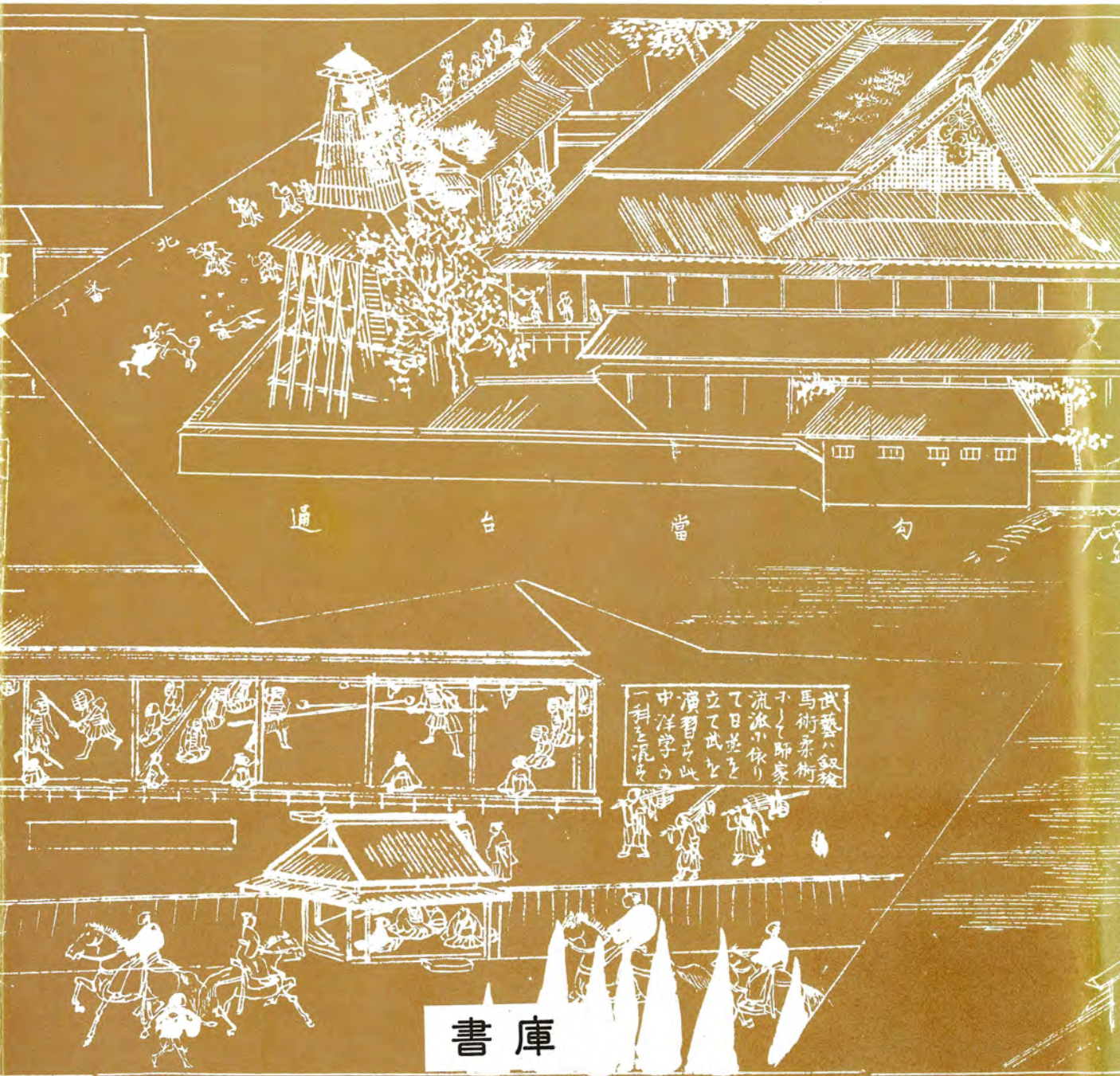


要説宮城の郷土誌 (続)

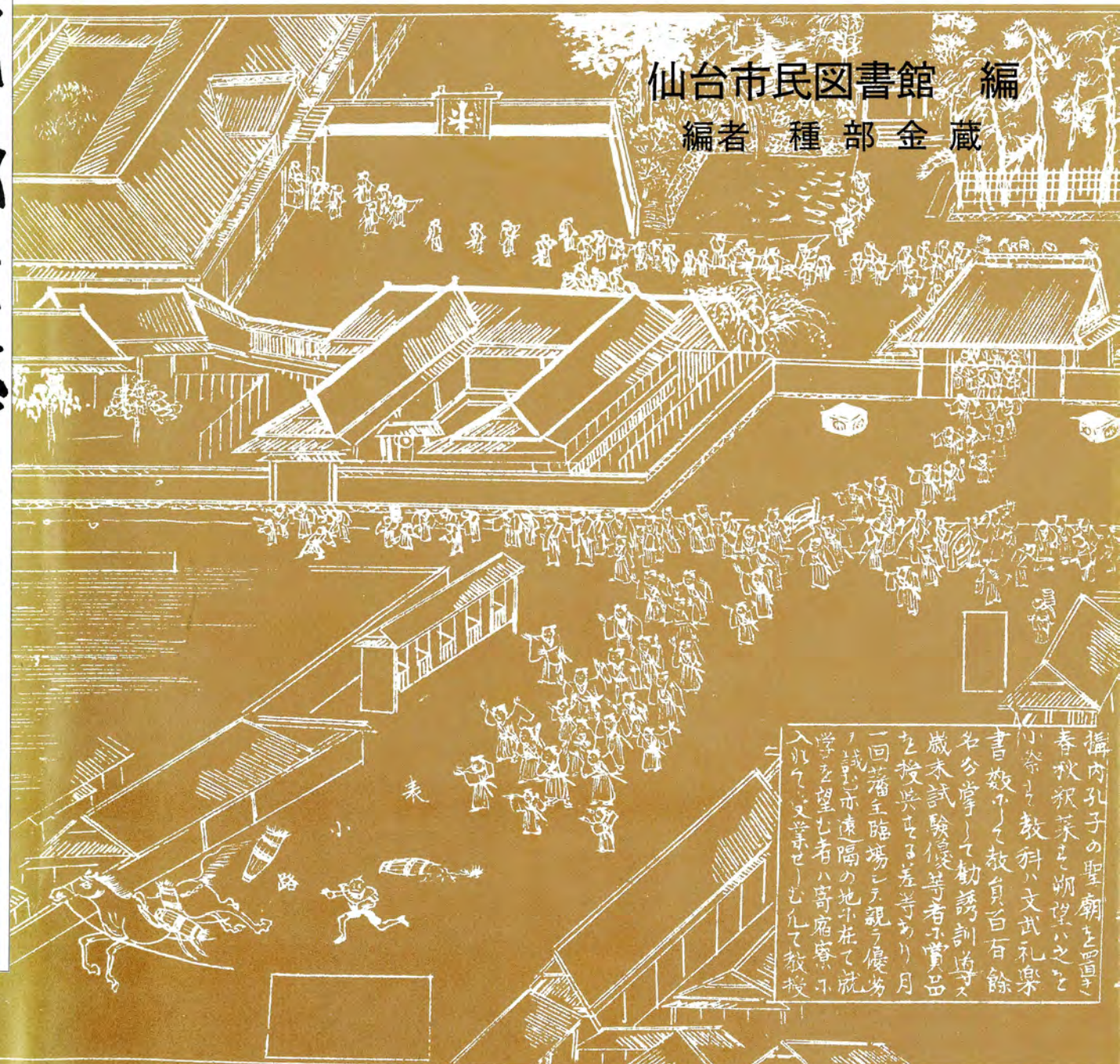
仙台市民図書館 編
編者 種部金蔵

要説宮城の郷土誌 (続)

仙台市民図書館 編



書庫

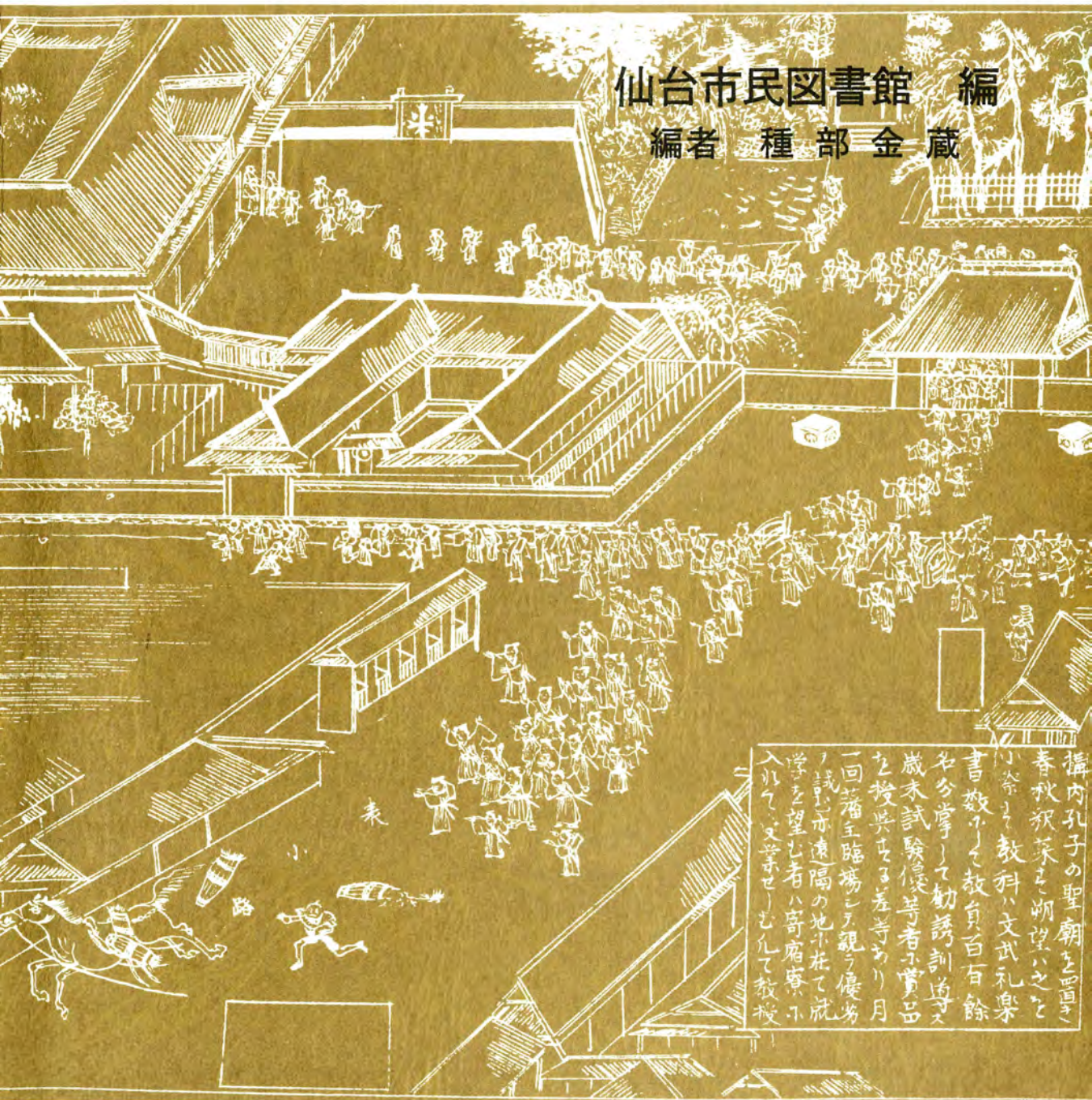


攝内孔子の聖廟を四百十
春秋祭菜を朔望ハ之と
小祭ヲ教科ハ文武礼樂
書教不ク教員百有餘
名分掌して勸誘訓導ス
歳末試験優等者ヲ賞品
ヲ授英王日子差等あり月
一回藩主臨場シテ觀テ優劣
ヲ試亦遠隔の地不在テ就
學ヲ望ム者ハ寄席客不
入リテ又昔未セハ凡テ教授

要説宮城の郷土誌 (続)

仙台市民図書館 編

編者 種部金蔵



構内孔子の聖廟を四百
春秋祝祭を朔望ハ之
小祭と教科ハ文武礼樂
書數ノ教自百有餘
名分掌して勸誘訓導又
歳末試験優等者ヲ賞品
ヲ授與女子差等あり月
一回藩主臨場して親ウ優劣
ヲ議亦遠隔の地不在て就
學ヲ望む者ハ寄宿寮ニ
入りて又學セしむルテ教授

序

昭和37年10月に開館して以来今年で30周年を迎える仙台市民図書館の特色のある活動の一つとして、昭和39年に開室された郷土資料室における一般市民はもとより全国から寄せられた仙台に関する質問・問い合わせに答える「郷土的レファレンス」があげられる。このようなレファレンスに懇切丁寧に応じてきたのが、開室以来担当であった種部金蔵氏である。種部氏は「図書館への一般的問い合わせは大小となく貴重なものであり、これを克明に記録して印刷刊行することによって郷土資料への親しみを深め、また図書館のレファレンス・スタッフにとっては回答への一つの助けになる」というユニークな発想から仙台市民図書館の印刷物の一つとして『文書による郷土的レファレンス質問に対する回答事例』という題名の冊子を昭和44年以来刊行し、これまでに第一が六集(130事例)、第二が五集(100事例)、そしてこの中から比較的質問の多い30事例を選んだ選集版も刊行されて、全国的に高い評価を受けてきた。

これらのうち、第一については昭和55年に合本再版され、更に仙台市民図書館の開館20周年を迎えた昭和58年には『要説宮城の郷土誌』と改題して公刊され、異色の郷土資料として好評をばくした。

その後第二についても合本再版の要望が多かったが、平成2年7月種部氏が他界されたこともあり延々となってきた。しかし今回、仙台市民図書館の開館30周年を期に『文書による郷土的レファレンス質問に対する回答事例第二』として合本再版するはこびとなった。郷土史への関心が高まりを見せる中で郷土仙台を改めて見直し、巾広く活用されることを期待するとともに、これが遺稿となった種部金蔵氏の業績を偲ぶものである。

平成4年6月

仙台市教育委員会

教育長 東海林 恒 英

目 次

1. 馬代とは	1
2. ×××× 六公四民とは	4
3. 蘆名と葦名と	7
4. 刀工国包の山城大掾とは	11
5. 伊達家の紋章「三引両」について	13
6. 唐船番所は何処にあったか	15
7. 「磐前県」はどう読むのか	18
8. ヴァンリードか、ウェンリードか、ウェンリートか	19
9. 早川智寛の生年はいつか	21
10. ヤン・レツルの経歴	25
11. 「うは矢」とは何か	27
12. 伊達綱宗の享年	29
13. 天満宮の榴岡への移遷について	31
14. 組拔とは何か	36
15. 「瓢木」は何と読むのか	39
16. 土井晩翠の姓は「どい」か「つちい」か	42
17. 仙台北城下の町々の道路幅	45
18. 一字拝領について	49
19. 征蠻詩の作者は誰か	53
20. 天游館は何処にあったか	59

21.	「林鐘吉」とはどんな人物か	66
22.	「七峯樵夫」という但木土佐の号は何によったのか	71
23.	九思山とは	77
24.	「おののえ」とは	80
25.	「同朋」とはどのような役か	81
26.	「泉ヶ岳」の表紀	85
27.	古山貞とは如何なる人物か	88
28.	戦前の政宗騎馬像台石の側面のレリーフの有無	93
29.	伊達氏の故地伊佐荘中村とは何処か	96
30.	山南敬助は仙台の脱藩者かどうか	99
31.	「流」とは何処か	101
32.	伊達政宗の金馬代	103
33.	桜川について	106
34.	仙台輪中とは	112
35.	「家の女房」とは	116
36.	御上・御上様、御下・御下様とは	119
37.	「榴岡」を「つつじがおか」読ませるのは何故か	122
38.	「食い初めは」生後何日目に行うのか	125
39.	三ヶ所御蔵とは	131
40.	「じゅうねん」を漢字でどう書くのか	133
41.	「経界之餘田」とは	135
42.	「仙台輪中」また「仙台輪の内」の初見	137
43.	「こどのでえどおり」とは	138
44.	西公園のこけし塔	140

45.	仙台軌道について	143
46.	「楽寿園」とは	145
47.	「性善孺人」とは	147
48.	戴賢人とは	148
49.	伊達家の京都屋敷の所在地	152
50.	柳生紙に関する図書資料	153
51.	七日原牧場の狼害	159
52.	仙台の医学館と青柳文蔵	161
53.	伊達政宗の辞世の下の句	165
54.	「養種園」の名称	170
55.	「宮城県」の県名の由来	173
56.	「けさらんぱさらん」とは	176
57.	「征車兼道」とは	184
58.	「七州」とは	185
59.	小説「石狩川」の「伊達邦夷」の名の読み	188
60.	幾世小佐治の墓	189
61.	「伽羅先代萩」の「伽羅」	191
62.	木下奎太郎の文学碑	192
63.	「凡下式」とは	197
64.	「若老」と「少老」	199
65.	肴町の浜祭	201
66.	「揉鯛」とは	204
67.	釈迦堂の碑の「久成如来」とは	206
68.	閻魔堂横丁とは何処か	211

69.	「押足輕」とは、またその読みはどうか	215
70.	「茂栗」の読み方と由来	218
71.	国分郷六村とは	220
72.	「六代治家記録」とは	222
73.	三尺三五平について	223
74.	昔の動物園に虎がいたか	231
75.	「佐目馬」・「馱馬」・「毛馬」	233
76.	「対物宮城の穴」とは	234
77.	「仙臺風」という古書	235
78.	「野老」とは	237
79.	支倉使節の往路について	238
80.	式内社「遠流志別石神社」のこと	240
81.	「コブタ丁」とは何処にあるのか	248
82.	「照星閣」と「夜の星」	251
83.	「うぐい田」とは	254
84.	「フランキ」とはどのようなものか	260
85.	旧七北田村は宮城三十二か村の内か	263
86.	「山家横丁」〔やんべよこちょう〕とは何処か	269
87.	山家公頼〔やんべきんより〕の歿年はいつか	272
88.	原田甲斐は政宗の孫かどうか	281
89.	「てんのこ、てんのこ」	286
90.	「鐘景閣」の名の由来	288
91.	白河以北一山百文	290
92.	「きびちょ」は仙台放言か	296

93.	「仙台石」とは	298
94.	「名取之里」の歌碑について	300
95.	「貞樹院」と「鯉」	307
96.	「群山」の読み	309
97.	「言い訳の楓」とは	311
98.	伊達政宗と伊達男	313
99.	「泉獄村」とは	316
100.	「ずぼら」と「ずぼら」	320
	索引	323